

当資料は、4ページ組みとなります。当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、当ファンドの基準価額が下落し、損失を被ることがあります。そのため、投資元金が保証されているものではありません。当資料の3ページ目に『主な投資リスク』ならびに『ご留意いただきたい事項』を記載しておりますので、必ずご覧ください。

追加型投信／内外／債券

ラッセル 世界債券ファンド I

RUSSELL GLOBAL BOND FUND

◆運用成果

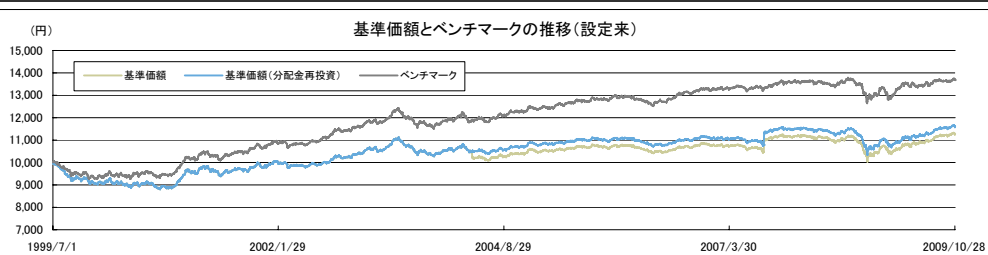
基準価額		
前月末	今月末	前月末比
11,219円	11,291円	72円
純資産総額: 1,392百万円		

・ラッセル 世界債券ファンド I は、その資金を主としてラッセル 日本債券マザーファンドおよびラッセル 外国債券マザーファンドに投資して効率的な運用をいたします。
 ・ラッセル 日本債券マザーファンドは、日本国内の公社債を主要投資対象とし、信託財産の長期的成長を図ることを目的とします。
 ・ラッセル 外国債券マザーファンドは、外国の公社債を主要投資対象とし、信託財産の長期的成長を図ることを目的とします。
 ・ベンチマーク シティグループ世界国債インデックス(50%為替ヘッジ)

期間別騰落率

	過去1カ月	過去3カ月	過去6カ月	過去1年間	過去3年間	設定来
ファンド	0.6%	2.1%	4.5%	9.6%	5.4%	16.3%
ベンチマーク	0.5%	0.2%	1.4%	6.5%	3.9%	36.7%

設定日	1999年7月1日
償還日	無期限
決算日	毎年4月18日(原則)
信託報酬率	年1.9530%(税込)



収益分配金実績

8期(2007年4月18日)	0円
9期(2008年4月18日)	0円
10期(2009年4月20日)	0円
設定来分配金累計	300円

- * 基準価額は信託報酬控除後のものです。また、ベンチマークは設定日を10,000円として指数化したものです。
- * 基準価額(分配金再投資)は信託報酬控除後のものです。また、収益分配金がある場合には税引前の全額を再投資したものととして基準価額の騰落率を計算し、推移をグラフ化しています。
- * 運用成果は過去の実績であり、将来の結果をお約束するものではありません。また、運用成果は実際の投資家利回りとは異なります。ベンチマークのグラフは当該指数の実績を示すものであり、当ファンドの実績あるいは将来の成果を保証するものではありません。

シティグループ世界国債インデックスは、シティグループ・グローバル・マーケット・インクが開発した、世界主要国の国債の総合投資利回りを各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。50%為替ヘッジ・インデックスは、日興シティグループ証券株式会社の承諾を得たうえで、当社が計算したものです。

◆各マザーファンドの内容

<当ファンドにおける投資先マザーファンド等の配分>

マザーファンド等	組入比率※1
ラッセル 日本債券マザーファンド	29.9%
ラッセル 外国債券マザーファンド	69.9%
短期資金等その他	0.2%

- ※1 組入比率は当ファンドにおける純資産総額に対する割合です。
- ※2 組入比率はラッセル 日本債券マザーファンドにおける債券および投資信託の評価額合計に対する割合です。
- ※3 組入比率はラッセル 外国債券マザーファンドにおける債券および先物等の評価額合計に対する割合です。

<ラッセル 日本債券マザーファンド>

種別配分

種別	組入比率※2	ベンチマーク構成比	ベンチマーク収益率
国債	60.4%	74.1%	-0.5%
地方債	0.0%	6.8%	-0.4%
政保債	3.0%	5.3%	-0.4%
金融債	0.0%	2.0%	0.0%
事業債	22.3%	9.5%	-0.2%
円建外債	4.6%	0.8%	1.1%
MBS / ABS	0.0%	1.4%	-0.5%
その他	9.7%	-	-

実効デュレーション: 6.0年

<ラッセル 外国債券マザーファンド>

地域別配分

地域	組入比率※3	ベンチマーク構成比	ベンチマーク収益率
北米地域	37.3%	34.5%	1.0%
ユーロ地域	38.4%	52.2%	2.2%
ユーロ除く欧州	9.7%	11.6%	3.3%
その他	14.6%	1.6%	2.6%

実効デュレーション: 6.3年

外部委託先運用会社(「フランク・ラッセル・カンパニー」を除く)

運用会社	運用スタイル	目標配分割合
ビー・エヌ・ビー・パリバ アセットマネジメント	金利戦略型	31%
りそな銀行	広範囲型	20%
DIAMアセットマネジメント	広範囲型	25%
住信アセットマネジメント	クレジット/セクター戦略型	20%
ビムコ ジャパン	収益源泉拡張型	4%

残存期間別組入比率

残存期間	5年以上	2年以上	2年未満
組入比率	50.4%	28.7%	20.8%

外部委託先運用会社(「フランク・ラッセル・カンパニー」を除く)

運用会社	運用スタイル	目標配分割合
コルチエスター・グローバル・インベスターズ	マクロ・バリュエーション型	24.5%
ビムコ	一般債重視型	75.5%

残存期間別組入比率

残存期間	5年以上	2年以上	2年未満
組入比率	54.0%	28.6%	17.4%

◆運用状況

10月の世界の債券相場は一進一退の展開となりました(シティグループ世界国債インデックス(50%為替ヘッジ)は円安のため前月末比0.5%上昇)。海外債券相場は、経済指標や企業決算の改善等を受けて下落基調(債券利回りは上昇)で推移しました。月末にかけて、経済指標の悪化等を受けて上昇に転じましたが、最終的に前月末とほぼ同水準で終わりました。国内債券相場は、国債増発懸念等を背景に下落基調となり、最終的に前月末を下回る水準で終わりました。為替市場では、対米ドル、対ユーロともに円安となりました。こうした中、ラッセル 世界債券ファンド I の基準価額は前月末比0.6%上昇しました。ラッセル 日本債券マザーファンドは、5社中1社がベンチマークを下回り、残り4社がベンチマークを上回ったものの、マザーファンド全体では、ほぼベンチマーク並みとなりました。広範囲型のりそな銀行は、サムライ債の保有や社債の銘柄選択等がプラスに寄与し、ベンチマークを上回りました。一方、金利戦略型のBNPパリバは、物価連動国債の保有等がマイナス要因となり、ベンチマークを下回りました。ラッセル 外国債券マザーファンドは、1社がベンチマークを下回ったものの、1社がベンチマークを上回り、マザーファンド全体でベンチマークを上回りました。ビムコは、米国のイールドカーブ戦略、金融セクターの社債等のオーバーウェイト等がプラスに寄与し、ベンチマークを上回りました。一方、コルチエスターは、金利戦略での豪州、メキシコ等のオーバーウェイト等が大幅なマイナス要因となり、ベンチマークを下回りました。

当資料は、4ページ組みとなります。当ファンドは、**値動きのある有価証券等に投資しますので、当ファンドの基準価額が下落し、損失を被ることがあります。そのため、投資元金が保証されているものではありません。**当資料の3ページ目に『主な投資リスク』ならびに『ご留意いただきたい事項』を記載しておりますので、必ずご覧ください。

追加型投信／内外／債券

ラッセル 世界債券ファンド I

RUSSELL GLOBAL BOND FUND

外部委託先運用会社リスト

ラッセル 日本債券マザーファンド

ラッセル 日本債券マザーファンドは、日本の市場において取引されている公社債を主要投資対象とし、安定的にベンチマーク(NOMURA-BPI総合指数)を上回ることを目標として運用を行います。複数の運用会社を採用することにより、金利予測、満期構成、債券種別選択、個別銘柄選択といった債券運用における超過収益の源泉や運用プロセスの分散を図り、リスクをコントロールしながら超過収益の獲得を目指します。

ビー・エヌ・ピー・パリバ アセットマネジメント(日本) <金利戦略型> 31%

ビー・エヌ・ピー・パリバは、グローバル債券運用で定評がある運用会社ですが、当ファンドでは、同グループの日本法人が、国債、地方債、政府保証債を中心に日本債券単独の運用を行います。ビー・エヌ・ピー・パリバの日本債券運用は、主な超過収益の源泉を、デュレーション(金利感応度)、イールドカーブ(利回り曲線)戦略等の金利戦略に求めます。

りそな銀行(日本) <広範囲型> 20%

りそな銀行はデュレーション(金利感応度)戦略、イールドカーブ(利回り曲線)戦略、債券種別選択、個別銘柄選択といった様々な分野で優れたスキルを有しています。金利戦略においては、国内のみならず、海外にも幅広い視野と分析能力を有し、マクロ経済から需給まで精緻な調査活動を行っています。クレジット戦略においても、トップダウン的な観点からの債券種別選択と徹底した企業の信用調査による個別銘柄選択とをバランスよく行います。

DIAMアセットマネジメント(日本) <広範囲型> 25%

DIAMは金利、クレジット/セクターの両戦略において、安定した超過収益の獲得を目指します。金利戦略部分では、投資家行動や需給分析に強みがあり、その分析能力を基に極めて短期的なポジションを機動的に数多く取る事で、超過収益の積み上げを図ります。クレジット/セクター戦略部分では、クレジットアナリストが定性、定量両面から精緻な信用力分析を行い、ポートフォリオ・マネージャーが個別銘柄選択を行います。また、投資ユニバースの拡充にも積極的です。

住信アセットマネジメント(助言:住友信託銀行)(日本) <クレジット/セクター戦略型> 20%

住信アセットは住友信託銀行の助言により運用します。当ファンドではクレジット物に特化した運用を行い、債券種別選択と銘柄選択から超過収益の獲得を狙います。助言者の住友信託銀行は、質・量ともに充実したクレジットリサーチチームを有しており、定性・定量両面での優れた分析能力は効果的な債券種別選択・個別銘柄選択を可能としています。

ピムコ ジャパン(日本) <収益源泉拡張型> 4%

収益源泉拡張型とは、日本債券のインデックスをベンチマークとしながら、一部外国債券市場にも超過収益を求める運用手法です。為替ヘッジ等により外貨への感応度はほぼゼロに、金利感応度についてもその殆どが日本の金利となるようにポートフォリオはコントロールされます。ピムコ ジャパンは、モーゲージ債等の複雑な債券やデリバティブ等の運用に優れており、リスクを抑えつつ、幅広い戦略から収益を獲得することを得意としています。

ラッセル 外国債券マザーファンド

ラッセル 外国債券マザーファンドは、日本を除く世界先進各国の市場において取引されている公社債を主要投資対象とし、安定的にベンチマーク(シティグループ世界国債インデックス(除く日本、円ベース))を上回ることを目標として運用を行います。当ファンドの大部分は国債や、高い格付けの債券に投資されます。複数の運用会社を採用することにより、金利予測、満期構成、債券種別選択、国別配分、通貨配分、個別銘柄選択といった債券運用における超過収益の源泉や運用プロセスの分散を図り、リスクをコントロールしながら超過収益の獲得を目指します。

コルチェスター・グローバル・インベスターズ(英国) <マクロ・バリュー型> 24.5%

コルチェスターの運用スタイルは、各国の経済情勢や財政の健全性などのマクロ分析を通じて、相対的に高いリターンが見込める、割安感の強い国の債券および通貨を発掘するというものです。割安であるか否かの判断は、実質金利や購買力平価などを予測する同社独自の定量モデルを用いて行われ、この結果に定性判断を加味することにより国別および通貨別の配分が決定されます。

ピムコ(米国) <一般債重視型> 75.5%

ピムコの外国債券/世界債券運用の特徴は、多様な収益源泉に幅広く分散投資を行うことです。国債以外の債券(一般債)への投資を得意としており、モーゲージ証券の運用にはとりわけ優れています。その一方で通貨変動からはあまり大きな影響を受けないような運用を行います。

(注)各マザーファンドでは、他の外部委託先運用会社の変更時における資産の移転管理および一時的な運用等のために、上記の外部委託先運用会社の他に、「フランク・ラッセル・カンパニー」を採用しています。

ラッセル・インベストメント株式会社

ラッセル・インベストメント株式会社は、世界46か国のお客様に総合的な資産運用サービスを提供するラッセル・インベストメントグループの日本における拠点です。これまでラッセル・インベストメントグループが世界で提供してきた「マルチ・マネージャー・ファンド」を日本で初めて設定・運用管理し、日本の投資家の皆様にご提供致しております。

ラッセル・インベストメントグループ

ラッセル・インベストメントは、現在世界46か国において、年金、金融機関および個人投資家など様々な投資家の皆様を対象に総合的な資産運用ソリューションを提供しています。グローバルに行う運用会社調査をもとに、資産運用、オルタナティブ投資、確定拠出年金サービス、資産運用コンサルティング、売買執行管理、株式インデックスの開発など幅広く業務を行っており、現在当グループが提供するファンドの運用資産総額は約16兆円※となっています。(※ 2009年9月末現在、為替換算レート:89.53円/ドル)

当資料は、4ページ組みとなります。当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、当ファンドの基準価額が下落し、損失を被ることがあります。そのため、投資元金が保証されているものではありません。当ページに『主な投資リスク』ならびに『ご留意いただきたい事項』を記載しておりますので、必ずご覧ください。

追加型投信／内外／債券

ラッセル 世界債券ファンド I

RUSSELL GLOBAL BOND FUND

◎主な投資リスク

＜以下に記載する基準価額の主な変動要因により、投資元金を下回るおそれがあります。＞

※投資リスクおよび留意点はこれらに限りません。詳細は投資信託説明書(目論見書)をご覧ください。

1. 金利変動リスク

債券は、金利の変動により価格が変動します。一般に金利が上昇した場合、債券の価格は下落し、当ファンドの基準価額が下落する要因となります。

2. 信用リスク

債券の発行体が経営不振、資金繰り悪化等に陥り、債券の利息や償還金をあらかじめ定められた条件で支払うことができなくなる(債務不履行)場合、もしくは債務不履行に陥ると予想される場合、債券の価格が下落し、当ファンドの基準価額が下落する要因となります。

3. 流動性リスク

当ファンドで短期間に相当金額の換金申込みがあった場合、組入債券を売却することで換金代金の手当てを行いますが、組入債券の市場における流動性が低いときには、市場実勢から期待される価格で売却できない可能性があり、当ファンドの基準価額が下落する要因となります。

4. 為替変動リスク

外貨建資産については、一般に外国為替相場が当該資産の通貨に対して円高になった場合には、当ファンドの基準価額が下落する要因となります。当ファンドは、為替変動リスクの低減を図るため、基本的に外貨建資産の50%程度について対円での為替ヘッジを行いますが、為替ヘッジを行わない部分については、為替変動リスクがあります。また、為替ヘッジを行う際、円金利がヘッジ対象通貨建の金利より低い場合には、当該通貨と円の金利差相当分のヘッジコストが発生します。

5. カントリーリスク

投資対象国・地域において、政治・経済情勢の変化等により市場に混乱が生じた場合、または取引に対して新たな規制が設けられた場合には、当ファンドの基準価額が下落する要因になり、また投資方針に沿った運用ができない可能性があります。

◎ご留意いただきたい事項

当資料はラッセル・インベストメント株式会社が当ファンドの運用状況等に関する情報の提供を目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。取得のお申込みにあたっては、必ず投資信託説明書(目論見書)を販売会社でお受取りになり、内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。

1. 当ファンドは主に世界先進各国の公社債を実質的な投資対象としますので、組入公社債の価格の下落ならびにそれらの発行会社の倒産または財務状況の悪化等の影響により、当ファンドの基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、これらに加え外国為替相場が当該資産の通貨に対して円高になった場合には、当ファンドの基準価額が下落し損失を被ることがあります。したがって、投資元金が保証されているものではありません。投資した資産の価値の減少を含むリスクは投資信託をご購入のお客様が負います。

2. 当ファンドはファミリーファンド方式で運用を行います。そのため、当ファンドが投資対象とするマザーファンドを投資対象とする他のベビーファンドに追加設定・解約等を伴う資金変動等があり、その結果当該マザーファンドにおいて売買等が生じた場合等には、当ファンドの基準価額に影響を及ぼす場合があります。

3. 金融商品取引所における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止、その他合理的な事情があると委託会社が判断したときは、委託会社は信託約款の規定に従い、当ファンドの受益権の取得申込み、換金申込みの各受け付けを中止すること、および既に受け付けた取得申込み、換金申込みの各受け付けを取り消す場合があります。

4. 信託約款で定められた信託期間中であっても、信託契約の一部解約等の影響により、純資産総額が小さくなった場合等には期日を繰り上げて償還することがあります。

5. 投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により変動します。したがって、投資元金の保証はありません。投資した資産の価値の減少を含むリスクは投資信託をご購入のお客様が負います。

6. 投資信託は、預金、保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。

7. 金融商品取引業者(従来の証券会社)以外の登録金融機関でご購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。

8. 法令・税制・会計方法等は今後変更される可能性があります。

9. 投資信託は、書面による契約解除(クーリング・オフ)の対象ではありません。

10. 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。

当資料は、4ページ組みとなります。当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、当ファンドの基準価額が下落し、損失を被る場合があります。そのため、投資元金が保証されているものではありません。当資料の3ページ目に『主な投資リスク』ならびに『ご留意いただきたい事項』を記載しておりますので、必ずご覧ください。

追加型投信／内外／債券

ラッセル 世界債券ファンド I

RUSSELL GLOBAL BOND FUND

ラッセルのマルチ・マネージャー運用の特徴

- 世界中から優れた運用会社を厳選**
ラッセルが世界各国に展開する各拠点をベースに、約90名^{※1}の“運用会社調査の専門家”が債券を含む約8,000^{※2}の運用商品を徹底的に調査し、優れた運用会社を発掘します。(※1:2009年6月末現在、※2:2008年12月末現在)
- 運用スタイル毎に優れた運用会社を結集し、最適なポートフォリオを構築**
複数の運用スタイルに分散し、それぞれの運用スタイルにおいて優れた運用会社を採用することで、日々変化する投資環境の中にあっても、ファンド全体として中長期的に安定した運用成果を目指します。
- 厳選された運用会社を継続的に監視、最適と判断される状態を目指す**
いかに優れた運用会社でも、運用会社内外の状況の変化により、その運用力を発揮できない場合があります。そこでラッセルでは継続的な調査活動に基づき、運用会社の変更や追加等を行い、最適と判断される運用会社構成を目指します。

お申込みメモ

※詳細については投資信託説明書(目論見書)をご覧ください。

お申込み	原則として毎営業日。ただし、ニューヨーク証券取引所、ロンドン証券取引所、フランクフルト証券取引所のいずれかが休業日の場合には、お申込みができません。お申込みの受付時間は、午後3時(半日営業日の場合は午前11時)までとなります。 なお、2009年9月28日以降、ご購入のお申込みの受付を停止します。
お申込単位	10万円以上1円単位です。
お申込価額	お申込受付日の翌営業日の基準価額
ご換金のお申込み	原則として毎営業日。ただし、ニューヨーク証券取引所、ロンドン証券取引所、フランクフルト証券取引所のいずれかが休業日の場合には、お申込みできません。お申込みの受付時間は、午後3時(半日営業日の場合は午前11時)までとなります。ご換金の代金は原則として、お申込受付日から起算して5営業日目からお支払いいたします。なお、大口のご換金は制限することがあります。
ご換金価額	ご換金申込受付日の翌営業日の基準価額
信託期間	原則として無期限です。 なお、信託の終了(繰上償還)に係る手続きを行っており、信託を終了(繰上償還)することとなった場合、信託期間は2010年1月18日までとなりますので、ご注意ください。
決算	年1回(毎年4月18日。ただし、休業日の場合は翌営業日。)
収益分配	決算時に基準価額水準等を勘案して決定します。ただし、分配を行わないことがあります。分配金は原則として税金を差し引いた後、無手数料で自動的に再投資されます。なお、分配金を再投資せず、お受け取りになることも出来ます。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
課税関係	当ファンドは、課税上、株式投資信託として取扱われます。 個人の受益者については、収益分配時の普通分配金ならびにご換金時および償還時の価額から取得費を控除した差益に対して課税されます。 (2009年10月末日現在の情報です。税法が改正された場合等は、上記の内容が変更になる場合があります。)

当ファンドの諸費用について

下記の費用(手数料等)については、お申込金額、保有期間等により異なるため、あらかじめ合計額等を記載することができません。

①お客様に直接ご負担いただく費用

お申込手数料	ありません。
ご換金手数料	ありません。
信託財産留保金	ありません。

②保有期間中に間接的にご負担いただく費用(信託財産から差し引かれるものでお客様に別途ご負担いただくものではありません。)

信託報酬	純資産総額に年1.953%(税抜1.86%)の率を乗じて得た金額とします。 (注:税法が改正された場合は、消費税等相当額が変更になることがあります。) 当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用をいたします。当ファンドおよび当ファンドが主要投資対象としますマザーファンドは外部委託先運用会社に運用委託をしております。その費用は、上記信託報酬に含まれております。
その他費用	組入れ有価証券の売買委託手数料、外貨建資産の保管および先物・オプション取引に要する費用、当ファンドの一部解約に伴う支払資金の手当てを目的とした借入金の利息、信託事務の処理に要する費用、信託財産に関する租税、受託会社が立て替えた立替金の利息・借入金の利息等 ※その他費用については、運用状況等により変動するものであり、あらかじめ利率、上限等を記載することができません。

ファンドの関係法人

委託会社	ラッセル・インベストメント株式会社(信託財産の運用の指図等を行います。) 金融商品取引業者:関東財務局長(金商)第196号 加入協会:(社)投資信託協会/(社)日本証券投資顧問業協会/日本証券業協会 TEL 03-5411-1515(受付時間:営業日の午前9時~午後5時(半日営業日の場合は午前9時~午前11時)) http://www.russell.com/jpin/
受託会社	三菱UFJ信託銀行株式会社(信託財産の保管・管理等を行います。)
販売会社	株式会社 三菱東京UFJ銀行(当ファンドの販売業務等を行います。) 登録金融機関:関東財務局長(登金)第5号 加入協会 日本証券業協会/(社)金融先物取引業協会
外部委託先運用会社	フランク・ラッセル・カンパニー(当ファンドの外国為替予約取引の指図を行います。)